

～ちょっと気になる感染症～

エムポックス（旧名称：サル痘）について

◆エムポックスとは

エムポックスはアフリカで流行しているオルソポックスウイルス属のエムポックスウイルスによる感染症です。2022年5月以降、エムポックス流行国への渡航歴のないエムポックス患者が世界各地で報告されており、国内では2022年7月に1例目の患者が確認されて以降、散発的な患者の発生が報告されています。

◆症状について

潜伏期間は6～13日（最大5～21日）

発熱、頭痛、リンパ節腫脹などの症状が0～5日程度持続し、発熱1～3日後に発疹が出現。多くの場合は2～4週間持続し自然軽快するものの、小児や、曝露の程度、患者の健康状態、合併症により重症化することがあります。体の部位に関係なく（特に顔、口、手足、肛門、性器、臀部（尻））発疹や水ぶくれがないか注意してください。皮膚の二次感染、気管支肺炎、敗血症、脳炎、角膜炎などの合併症を起こすことがあります。

手掌や足底にも皮疹が出現することが水痘との鑑別に有用とされています。

◆感染経路について

感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触（性的接触含む）、患者との接近した対面での飛沫への長時間の曝露、患者が使用した寝具等との接触等により感染します。

◆予防について

感染を疑う症状がある時には、乳幼児や高齢者等の免疫力の低い人との接触や寝具等の共有を避けましょう。感染可能期間の性的接触は避けましょう。

◆適切な受診について

エムポックスを疑う症状がみられた場合、最寄りの医療機関にご相談ください。

医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼで覆う等、対策をした上で受診して下さい。

最新の情報は厚生労働省のHPをご参照ください。

厚生労働省HP：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html